

工務店事例

点と点をつなげてまちづくりをデザインする 顧客を“チーム化”して事業拡大「建築を楽しみながら、地元を元気に」

地域貢献

YAE WORKS (ヤエワークス) [香川県三豊市]

ヤエワークスは、工務店としてのノウハウや建築のスキルを生かして、地域のさまざまな人・企業との関係性を構築・拡大しながら、まちづくりにつながる事業を展開する。県内の建設会社・工務店で30年以上、設計や現場管理、住宅・施設建築部門の立ち上げなどに携わってきた同社代表の竹田徳さんは「キャリアの終盤は大好きな建築の仕事を楽しみながら、生まれ育った地元を元気にして、若者が『ここで暮らしたい、帰ってきたい』と思えるまちにしたい」と理想を描く。

【編集部 関卓実】

同社は、竹田さんと東京都内で長年にわたり、店舗デザイン・プロデュース業に携わってきたデザイナーの山上武徳さんが共同で2021年に設立。設立にあわせて、綾川町内の自社でリノベーションした店舗に、直営のカレー専門店「ヤエ食堂」をオープンした。その店の一角で、店舗デザイン・リノベーションや住宅の新築・リノベーションなどを手がける工務店としての存在を「さりげなく知らせる」(竹田さん)ところから建築・住宅事業をスタート。竹田さんが思い描いた通り、ヤエ食堂への来店者のなかから「こんな雰囲気のお店にしたいが相談に乗ってもらえるか」といった地元の、さまざまな業種の店舗経営者から声がかかるようになった。

クライアントの店舗を ヤエワークスブランドに

竹田さんは設立時に「デザインの点と点がつながりまちになる」と掲げた自社のコンセプトに基づき、ただ店舗リノベの設計・施工を受注するのではなく、デザイン性などに対する建築的な世界観に加えて「店舗運営を通じて、地元を面白

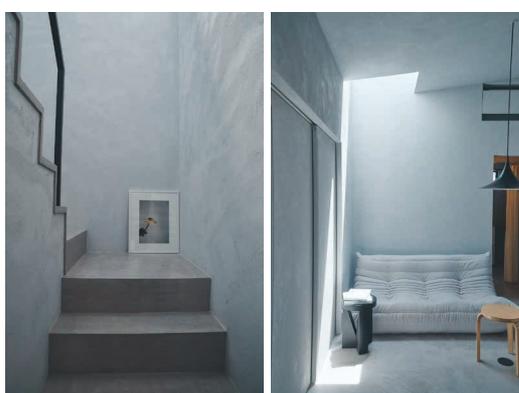
くしたい、豊かにしたい」という価値観を共有できるクライアントと“パートナー”としてリノベ事業を実施。引き渡し後は、共感・賛同を得たクライアントを「チームヤエワークス」(ゆるやかな事業パートナーシップ)のメンバーに迎え入れ、ヘアサロン「テラス」やセレクトショップ「イーラ」、ドッグサロン「海街まるん」などのようにクライアントが運営する店舗を自社のホームページに掲載し、ヤエワークスブランドとして一体的にブランディングしている。竹田さんは「もちろん各社のシナジーによってそれぞれの認知度拡大や顧客数の増加を期待してはいるが、それ以上に、こうした協働によるブランディングがこれからの地方における小さな企業体のプロモーション戦略と生き残り策の最適解になるのではないか」と見る。

手がける店舗の広がりにあわせて、自然に住宅の依頼も増加。設立から4年目となる今年、今の体制ではキャパ上限の受注ペースで新築5棟、リノベ3棟を見込む。2年前には、事業拡大にあわせてスタッフが4人に増えたことなどもあ



ヤエワークスの住宅事例。「ミニマム&シンプル」を具現化したモダンデザインが特徴だ。自社と一体的にブランディングする「チームヤエワークス」の飲食やアパレルなどの店舗を通じて評判が広がり、住宅の引き合い・受注が伸びている

家づくりのコンセプトは「あなたらしい暮らしをデザインする」。写真は「美術館のような家に住みたい」という施主の望みを叶えた住宅の内観。光の入り方から広がり方まで緻密にプランニングされている。キッチンから眺めるコートテラスは絵画のよう



り、自然に囲まれた三豊市にある築100年の古民家(賃貸)を自社でリノベして本社を移転した。ヤエ食堂には自社の営業拠点を残しつつ、店舗運営に関しては県内でこだわりのコーヒーショップを事業展開するオーナーに譲渡。現在は「やえ珈琲店」として運営されている。

独自性の強い家づくり 技術力高い職人集団が支え

ヤエワークスの家づくりのコンセプトは「あなたらしい暮らしをデザインする」。竹田さんは「当社に依頼するお客様の方も『自分たちらしい暮らしを実現したい』と希望する人が多く、店舗なども通じてヤエワークスのブランドが広がりつつある手応えはある」とし、「だからこそ暮らし方を中心にお客様のヒアリング

は時間をかけて丁寧に行う」と説明する。「ミニマル&シンプル」を形にしたモダンデザインをベースとする住宅の世界観は、基本的に店舗デザインと共通だ。竹田さんは「余分なものを削ぎ落とすことにより、飽きの来ない普遍的な空間にしながら、住まい手が暮らし方や趣味の変化にあわせて部屋の用途や家具などを変えられるような“余白(余地)”も残している」と話す。

デザイン性が高くオリジナリティのある同社の家づくりにとって必要不可欠なのが、竹田さんが地元建築業界での長いキャリアを通じて信頼関係を培ってきた大工や左官、建具、板金など技術レベルの高い職人集団の存在だ。竹田さんは「例えば、室内に取り込む光を大切にす

左：ヤエワークス代表の竹田徳さん
右：オフィスのガラス戸に書かれた竹田さんの「マインドマップ」。地元の人や企業との関係性の広がりにあわせて、固定観念や既存の枠組みを超えて事業がアメーバ状に拡大していくイメージ



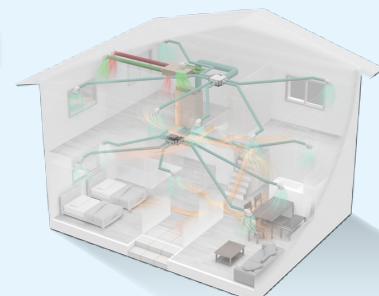
Panasonic

くらしは、 空気を変えられる。

パナソニックの「全館空質空調」

全館空調熱交換気システム「ウイズエア」

with air®

部屋ごとに
快適温度澄みやかな
空気循環細やかな
省エネ運転「ウイズエア」
公式サイトはこちら

※全館空調熱交換気システムはパナソニック指定代理店での取り扱いとなります。
※住宅性能等、一定の基準がございます。



古民家をリノベーションした「やえ珈琲店」(旧ヤエ食堂)の外観と店舗内。いまま店舗内の一角には自社の営業拠点(住宅・建築事業)がある

表現できるオリジナルの壁の塗装材や造作によるキッチン、家具、木製サッシなど、職人さんなくして当社の家づくりは成り立たない」と言い切る。この職人集団についてもチームヤエワークスのなかの「匠チーム」としてブランディングしている。

空き家対策・中古活用促進も

まちづくりや空き家対策といった視点での中古住宅の利活用にも力を注ぐ。本社もショールームに位置づけて既存の建物やリノベの魅力を発信するほか、チームヤエワークスのメンバーの不動産会社とコラボし、善通寺市内に販売型のリノベモデルハウス「余白の家」を展開。リノベにより断熱や耐震といった性能は担保しつつ、内部の仕上げは、壁は石膏ボード、床は合板のまま。「あえて未完成で引き渡し、施主が好みに応じて仕上げ材を選んだり、住みながらDIYで時間をかけて仕上げていく」といった余白を残し

たりノベブランド」(竹田さん)という。新築の価格が上昇するなか、ヤエワークスブランドのブランド力やチームヤエワークスのネットワークもフルに活用しながら、「中古住宅×リノベ」という住まいと暮らし方の選択肢を広げていきたい考えだ。

竹田さんは、今後も「店舗・施設のクライアントの業種や住宅の施主が手がけている事業、新たに入ってくるスタッフのスキルなどに応じて、チームヤエワークスとヤエワークスブランドは広がり続ける」と思い描く。実際に、住宅の施主のなかには個人で海外留学支援事業を行っていたり、食材にこだわった離乳食をEC販売する人などがいて、「話してみると高い志や思いで共感する部分が非常に多く、竹田さんは「すぐにもチームヤエワークスに迎え入れてヤエワークスブランドでも広げていきたい」と考えており、前向きに話が進んでいるという。

地域の相談所・ハブ目指す “デザイン工務店”の領域拡大

将来的には、マルシェなどの地域イベント、家具・雑貨・グリーンなど各種店舗、子育て支援や高齢者介護といった事業をヤエワークスブランドに位置づけて展開していくことを視野に入れる。竹田さんは「最終形としては、起業したい人が起業の前段階から相談に来たり、シナジーを生み出しそうな事業と事業を結びつけたり、『ヤエに行けば何かがある。ヤエに頼めば何とかできる』という地域の“よろず相談所”や“ハブ”になりたい」と語る。

竹田さんは「建築のスキルを持つ地域工務店には、地元の企業や人をプロデュースし、まちづくりをデザインする潜在的なポテンシャルがある」と考える。今後も従来の工務店業の枠組みにとらわれず、新しいタイプの“デザイン工務店”として活動領域を拡大していく。チームヤエワークスのメンバーは50社を超え、店舗や住宅の目



セレクトショップ「イーラ」のファサードと内装。チームヤエワークスとして一体的にプランニング。来店客から家づくりや店舗リノベの相談が入ることも

に見える実例も蓄積されてきた。これまでメディアなどへの露出は抑えめだったが、今年から来年にかけては「ヤエワークスブランドのプロモーションに力を入れていく」(竹田さん)という。

来春には、そのプロモーション戦略の軸を担う企画・広報担当として、施主の1人でヤエワークスの住宅の熱烈なファンでもあり、インスタのフォロワー1万人以上という女性がジョインする。竹田さんは、ブランドがさらに地域に浸透していくことを期待しながら、「自分が想像もしないような事業が生まれたら面白いですね」と笑う。



三豊市内にある本社。築100年の古民家をリノベーションした。中古活用やリノベの魅力の情報発信拠点にも位置づける。「自然環境に恵まれたすてきなオフィスですてきに働く」こともヤエワークスの大切なテーマだ

国産無垢フローリング

Azumino MATSU
あづみの松
from NAGANO Made In JAPAN

WPFL0035V 無地上小 ナチュラルV コートクリア 152mm
カットサンプル無料！お問合せはこちら ▶ 施工事例集

綿半建材株式会社
ハロー レッコー 綿半建材

0263-86-0250



貼るだけ気密
始めました

ボード気密用テープ

BKガードA

- 下地を確認しやすい半透明
- ボードなどの粗面にもしっかり粘着



施工の簡単さから、近年採用が増えつつある『ボード気密』【BKガードA】は『ボード気密』のためだけに作られた専用テープです。「気密性能を上げたい!」「でも経験がない…」「人手も予算も足りない」そんな悩みを抱えている工務店様は是非お試し下さい!

